

令和 年 ○○○○消防総合訓練

(各事業所の特性により、訓練の内容を取捨選択して作成してください。)

1. 目的

火災は一定時間を過ぎると急速に拡大するため、通報が遅れたり、初期消火活動が適正に行われないと消防隊が現場に到着した時点では手遅れとなり、貴重な財産はもとより、人命の救出さえも困難になるおそれがある。

このことから、初期消火、通報、避難誘導に関して火災発生と同時に○○○の総力をあげ、人員や資機材を有効に活用した組織的な自衛消防活動が必要とされる。

火災という異常事態の中でも迅速かつ的確な行動ができるように、火災発生時に消火・通報・避難誘導等の活動を繰り返し行い、組織的な自衛消防活動の一連の流れを体得及び習熟させることを目的とする。

2 日時 令和 年 月 日()午前 時 分から

3 場所 みやま市 町 番地
○○○○○○○○

4 参加者 職員又は従業員 名 児童又は生徒 名 計 名

5 指導 みやま市消防本部予防課指導係

6 目標

(1) 自衛消防本部(大規模な事業所)

- ア 自衛消防活動の指揮統制、状況の把握
- イ 公設消防隊への情報や資料の提供、消防隊指揮本部との連絡
- ウ 在館者等に対する指示のための放送
- エ 関係者や関係機関への連絡
- オ 消防用設備等の操作運用
- カ 避難状況の把握
- キ 地区隊への指揮や指示
- ク その他必要な事項

(2) 通報連絡班(地区隊)

- ア 消防署への通報(119番)及びその他指定場所への連絡

(3) 消火班(地区隊)

- ア 消火器・屋内消火栓を活用しての消火活動

(4) 避難誘導班(地区隊)

- ア メガホン等を活用しての在館者等の避難誘導
- イ 在館者のパニック防止措置
- ウ 避難状況の確認及び本部への報告
- エ 避難器具の設定

(5) 安全防護班(地区隊)

- ア 防火戸、防火シャッター等の操作
- イ 危険物、ガス、火気使用設備等に対する応急防護措置
- ウ スプリンクラー設備等の放水による水損防止措置
- エ 活動上支障となる物件の除去

(6) 応急救護班

- ア 負傷者の応急処置

(7) 重要書類及び物件の搬出

7 訓練内容

(1) 消火訓練

消火班による消火器又は屋内消火栓を活用しての消火活動

(2) 通報訓練

通報連絡班による消防署への通報(119番)及びその他指定先への連絡

(3) 避難誘導訓練

避難誘導班によるメガホン等を使用した避難誘導訓練

(4) 総合訓練

消火訓練、通報訓練及び避難誘導訓練の各訓練を連携して行う訓練

8 訓練想定

午前〇〇時〇〇分頃、筑後地方南部を襲う直下型地震が発生した。おりしも、調理中(操業中)の〇〇〇〇の給食室(工場)より出火。給食調理員(従業員)が自動火災報知器のベルを押し、発報させた。

9 安全対策

- (1) 訓練に使用する施設、資機材及び設備等は、必ず事前に点検を実施すること。
- (2) 資機材及び訓練施設等に異常が認められた場合は、直ちに訓練を中止するとともに必要な安全措置を講じること。
- (3) 手袋、安全帽を着装させるなど十分な安全を確保させること。
- (4) 使用した資機材は、火災に備え、元の位置に収め、確認すること。